



学習NOW!

令和2年7月1日

日光市立大沢中学校
学習だより 第3号

盛夏の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

7月となり、いつもなら夏休みも目前となりますが、今年度の夏休みは8月1日から8月16日と大幅に短縮となりました。例年ですと、1学期の通知表が配布され一喜一憂する姿が見られますが、今年度より本校では、3学期制ではありますが、通知表では前期・後期制をとらせていただきます。今回は、「通知表」についてのお知らせです。

1 通知表って何？

学校等が教科の成績や日常生活の記録などをまとめ、生徒本人や保護者へ通知するための書類のことです。「通信簿」「通信表」などと呼ばれることもあります。本校では「学校生活の記録」として配布されます。現在の自分の成績（学力）や日常生活の様子を見つめ、後期に向けてより向上できるよう通知表を御活用ください。

なお、通知表とは別に、学校では学校教育法施行規則により「指導要録」の作成が義務づけられています。県立受検や私立受験に用いられる「調査書」における成績は、「指導要録」をもとにしていますので、通知表とは多少異なる場合もございますのでご承知おきください。

2 「通知表」の前期・後期制とは？

今年度より下の図のように、通知表の前期・後期制をとらせていただきます。それに伴い、定期テストも前期中間テスト・期末テスト、後期中間テスト・期末テストとなります。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
学期	1学期				2学期					3学期		
	1学期 始業式 入学式	地区大会 遠足 修学旅行		地区大会 1学期 終業式	夏休み 2学期 始業式	運動会 地区 新人戦			2学期 終業式 冬休み	3学期 始業式		卒業式 修了式 春休み
成績	前期						後期					
定期 テスト			前期中間 テスト (中止)			前期 期末 テスト			後期 中間 テスト			後期 期末テスト 1・2年
懇談 通知表		1年懇談 2・3年 希望制				通知表 全学年 三者懇談		三者懇談 3年				三者懇談 1・2年 3年希望制

今年度はコロナウイルス感染症予防のため、表と一部異なりますが、**前期の通知表は10月、後期の通知表は3月に通知されます。**

3 どうして前期・後期制なの？

次の3点から本校では、前期・後期制をとらせていただきました。

- (1) 前期・後期とも評価期間が5か月ほどあるため、長期的に生徒の向上や変容を評価し、より詳しくご家庭に連絡できるようになります。特に3学期は短く十分な評価ができなかったことが課題でした。

(2) 三者懇談を利用し、教科の学習の様子や行動の様子を詳しくお話することができます。今までは、通知表の「所見」欄に記入していましたが、スペースの都合上、十分なものではありませんでした。

(3) 3年生は12月のあわただしさが軽減されます。私立入試・県立入試等の中、生徒も教師も落ち着いて学校生活が送れます。

4 通知表はどう変わるの？

(1) 必修教科の記録

2年生・3年生にとって、基本的な構成は今までのものと変わりませんが、前期評価と後期評価さらに学年評価が示されます。1年生は小学校の通知表と異なりますので、右を参考にしてください。

評価は下のように3段階で示されます。

十分に達成している：A

おおむね達成している：B

努力を要する：C

なお、評定は5段階で示されます。

必修教科の記録			
教科	観点	評価	前期評定
国語	国語への関心・意欲・態度	A	5
	話す・聞く能力	A	
	書く能力	A	
	読む能力	A	
	言語についての知識・理解・技能	B	
社会	社会的事象への関心・意欲・態度	A	4
	社会的な思考・判断・表現	A	
	資料活用技能	B	
	社会的事象についての知識・理解	B	
数学	数学への関心・意欲・態度	B	3
	数学的な見方や考え方	B	
	数学的な技能	B	
	数量や図形などについての知識・理解	B	

(2) 生活行動の記録

生活行動の様子		
項目	観点	評価
基本的な生活習慣	中学生らしい服装や髪型を心がけて生活できる。	○
	身のまわりの整理整頓ができる。	△
	時間を守って規則正しい生活ができる。	・
	時と場に応じた言葉遣いや行動ができる。	・
健康・体力の向上	日頃から心身の健康に気を配り、体力の向上に努めることができる。	○
自主・自律	自主的に諸活動に取り組むことができる。	・
	学校や学級のきまりを守って生活できる。	・
責任感	自分の役割を自覚して、誠実にやり抜くことができる。	○
創意工夫	豊かな発想や工夫が見られ、自分の個性を生かした生活をしている。	・
思いやり・協力	誰に対しても思いやりと感謝の気持ちを持ち、相手の意見や立場を尊重し助け合って生活できる。	・
生命尊重・自然愛護	命あるものや自然を大切にし、かけがえのない自他の生命を尊重することができる。	○
勤労・奉仕	勤労の尊さや意義を理解し、進んで仕事や奉仕活動ができる。	○
公正・公平	善悪の判断がきちんとしてでき、差別や偏見をもつことなく、誰とでも公平に接することができる。	○
公共心・公德心	公共物を大切にし、学級や学校のためになることを進んで行うことができる。	○

本校では、10の項目について14の観点で3段階で示しています。右の表を参考にしてください。

十分達成している：「○」

おおむね達成している：「・」

特に改善、努力を要する：「△」

(3) 学習および生活行動などの所見

昨年まで、文章で記入していましたが、学習および生活行動についての詳しいお話は通知表の配布の前に行う三者懇談等に代えさせていただきます。

編集後記

通知表についてまとめましたが、いかがだったでしょうか。通知表の細かな説明は、「学習の手引き」の7「学校生活の記録の見方」を参考にしてください。「人を評価する」ことは、とても難しいことです。

人によって評価が変わることもあります。通知表に一喜一憂しすぎるのも考えものかもしれません。ただ、良いと認められたところは自信をもってもらいたいです。自分の良いところを伸ばして、将来に生かしていけるといいですね。

